



緑肥・緑化の部屋 19

～環境保全の実践を目指して～

タキイ種苗(株) 営業部 緑化飼料課

Q 今年もトマトを栽培したいと思っていますが、最近、トマトの葉が黄色くなり、しおれたようになることがあります。根を抜いてみると、丸いコブのようなものがたくさんできています。土壌消毒などを検討しなければいけないのでしょうか？

A 症状からは、「サツマイモネコブセンチュウ」による被害と思われます。

このセンチュウはトマトなどのナス科のほか、サツマイモ（ヒルガオ科）、キュウリ・メロン（ウリ科）、オクラ（アオイ科）、ほかにはイネ・マメ・ユリ・アブラナ・アカザ・キク科などの作物にそれぞれ被害を及ぼします。

このセンチュウに対しては、登録された農薬がありますが、増収を目指す先進的産地では、積極的に緑肥を使ってセンチュウ密度を抑制することも最近盛んに行われています。

※抑制効果は、センチュウが土壌中で活動している時期（春～秋）に緑肥作物を栽培することが必要といわれています。



→
トマトの根に付いたネコブセンチュウの被害（原図：池田二三高）。

サツマイモネコブセンチュウの密度を抑制！
寒地型イネ科牧草で、冬～春の間に生育させることができる。

えん麦 たちいぶき PVP

〈播種期〉
・ 中間・暖地：
3～5月、
8月下旬～11月
・ 冷涼地：
4～6月、8～10月

〈播種量〉
10a 当たり 8～10kg



↑「たちいぶき」後作でのサツマイモ



↑「市販品種A」後作でのサツマイモ

2013年 春まき 緑肥・景観用ニールック



↑センチュウ・害虫を抑制し、根菜の秀品率アップ！



↑低温期の土壌改良に最適！



↑土壌中の過剰成分を吸収し健康な土に！



↑雑草の予防にはこれ！



↑緑肥・景観用に最適！



↑空気中のチッソを取り込む。景観用にも！



↑辛味成分で土壌をきれい！